

TOSHO *LADY*



組 織 概 要

設 立 1949年9月 会員数 305名（2025年3月末現在）

活動スローガン “新時代の未来を共に築く より速くチャレンジ、より強くチェンジ”

目 的 本会は、会員相互の親睦と連携を密にして、女性経営者の向上と商工業の振興を図り、兼ねて社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
（女性会規則第1条）

会 員 資 格 本会の会員は、東京商工会議所会員事業所の女性経営者ならびに女性役員で本会の目的に賛同した者とする。
（女性会規則第4条） ※法人・個人は問いません。

年 会 費 年額：10,000円
※加入初年度の年会費は加入月により異なります。
4月～9月加入 10,000円（全額）
10月～2月加入 5,000円（1/2）
3月加入 年会費はいただきません

女 性 会 の 主 な 活 動

東京商工会議所女性会は、東京商工会議所会員企業の女性経営者・役員が加盟する団体です。東京商工会議所の活動の一翼を担う団体として、メンバーの柔軟かつ大胆な発想と実行力を最大限に活かし、女性が一層輝ける環境づくりを目指し活動してまいります。

交 流 委 員 会

「ビジネス交流会や経営者のネットワーク強化
～ビジネスに役立つ交流会～」
経営者の繋がりを広げるための交流会の実施

研 修 委 員 会

「女性経営者の資質向上と経営者の育成」
女性経営者の資質・意欲向上並びに事業の発掘
に資する企画の立案及び新規事業の提案

ご挨拶



東京商工会議所女性会
会長 畠山 笑美子

東京商工会議所女性会は、1949年に設立され、今年で76年目を迎えます。全国422女性会の中で最も歴史のある女性経営者の団体として、女性経営者の資質向上・会員間の親睦・地域社会への貢献を目的とし、積極的に活動してまいりました。

昨年75周年という節目の年を記念し、記念式典を盛大に開催した他、9月に実施したチャリティコンサートでは多くの方にご来場いただきました。コンサートの収益の一部はひとり親家庭を支援するための活動へ寄付をさせていただきました。その他にも新入会員を囲んだ歓迎会やビジネスを目的とした交流会、最先端で活躍する若手女性経営者による講演会・ワークショップを行うなど、今期のスローガンとして掲げる“新時代の未来を共に築く より速くチャレンジ、より強くチェンジ”のもと精力的に活動しております。

現在の役員体制が発足し2年半が経過し、私の任期も残り僅かとなりました。

今後も会員同士が切磋琢磨し合い、これから先、90年目・100年目と東商女性会が輝き続けられるよう、全力で活動してまいりますので、引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

交流委員会



副会長
田口 絢子



副会長
安藤 邦子



委員長・理事
小池 道子



副委員長・理事
赤池 左知代



副委員長・理事
山崎 和子



副委員長・理事
幾島 光子



副委員長・理事
北島 アキ子



理事
遠藤 陽子



理事
緒方 智英子



理事
小池 淑子



理事
財津 澄子



理事
襲川 咲栄



監事
桑田 雅子

研修委員会



副会長
志賀 律子



副会長
倉光 美也子



委員長・理事
亀谷 広美



副委員長・理事
田村 麻紀



副委員長・理事
真下 美由起



副委員長・理事
高田 直美



副委員長・理事
中村 鈴子



理事
石井 清香



理事
石川 元子



理事
宇都 ひろ子



理事
毛塚 真紀



理 事
前田 恵子



監事
湯原 玲奈

東京商工会議所女性会の活動

(2024年4月～2025年3月) ※標記中の役職は実施日の役職です。

創立75周年記念事業・ チャリティーコンサート～秋川雅史さんを迎えて～

■実施日：2024年9月20日(金) ■開催会場：サントリーホール ■参加者：313名

2024年9月20日、東京商工会議所女性会は、設立75周年を記念し、特別なチャリティーコンサートを開催しました。

会場となったのは赤坂アークヒルズにある日本を代表するコンサートホール、サントリーホールです。歴史あるこのホールに、東京商工会議所女性会のメンバーをはじめ、全国各地の女性会や東京商工会議所の役員の皆様が集いました。



今回のコンサートには、日本を代表するテノール歌手・秋川雅史氏を迎え、その美しい歌声で来場者を魅了しました。代表曲である「千の風になって」はもちろんのこと、クラシックの名曲や親しみやすい楽曲まで幅広い選曲がなされ、観客は心ゆくまで音楽を楽しみました。秋川氏の歌声がホールいっぱいに響き渡るたびに、感動の拍手が巻き起こり、会場は温かな一体感に包まれました。また、演奏の合間には、秋川氏ならではの軽妙でユーモアあふれるトークも展開され、客席からは笑い声が上がる場面も。

素晴らしい音楽と楽しい語らいに、来場者は終始魅了され、会場全体が和やかな雰囲気になりました。

本コンサートの収益は、赤い羽根募金を通じてひとり親家庭の支援に活用される予定です。音楽を通じて人々に感動を届けるだけでなく、社会貢献にもつながる意義深い機会となりました。75周年という節目の年にふさわしい感動と温もりに満ちた一夜となり、参加者一同にとって忘れられない思い出となりました。



暑中、多くのお客様に会場へお越しくださいました





畠山会長の挨拶



最後は皆さん立ち上がり、いつまでも拍手が鳴りやみませんでした



他の女性会のメンバーと秋川さんを囲んで



運営スタッフ

75周年を共に喜び合える 参加型交流委員会を目指して

交流会委員では、会員同士の親睦を深める場を提供し、
地域経済の発展と女性の活躍を促進することを目的とした企画を運営しております。
本年は女性会創立75周年の記念イベントもあり、また、一方で恒例の「新年懇親会」を開催。

会員の皆様やご来賓の方々に新年から喜んで頂いています。

加えて、夏には「新入会員歓迎会」を開催し、初参加の皆様には自己紹介を頂き、
既存会員の皆様との交流を深め、女性会に馴染み、共に活動できるよう心掛けております。

さらに「ビジネス交流会」、秋には「日帰りバス旅行」も開催しました。
イベントを通じ、人と人が交流を深めていく中で仕事とは違う人間関係が構築出来る事を望んでおります。

主催事業

75周年記念式典・新年親睦会

■日時：2025年2月3日(月) ■開催会場：椿山荘 ■参加者：190人

東京商工会議所女性会 75周年記念式典 —新たな仲間とともに未来へ—

2025年2月3日、東京商工会議所女性会の創立75周年を記念する式典が盛大に開催されました。本イベントは、昨年秋に日本を代表するテノール歌手・秋川雅史氏を迎え、サントリーホールで行われたチャリティーコンサートの収益を赤い羽募金を通じてひとり親家庭の支援に活用していただくため社会福祉法人 東京都共同募金会へ寄贈するための式典で、75周年の集大成として全国女性会の皆様をはじめ多くの会員が集まり、喜びと感謝に包まれる特別な一日となりました。



寄付金を受けとる大島副会頭(※小林会頭代理)



華やかな式典の幕開け

記念式典は、東京商工会議所女性会の交流チームが中心となり、キャスティングから演目のセッティングまで細部まで、心を込めたプログラムを用意しました。司会を務めたのは、フリーアナウンサーの田中大貴さん。祝宴の幕開けには、伝統文化を象徴する丸山芸者さんたちのお祝いの舞が紹介され、乾杯のお酌や会場を回って伝統文化に触れられる機会となりました。



新会員の紹介と温かな交流

今回の式典では、新しく加わった会員紹介も行われました。先輩との交流の場も設けられ、これまでの活動の歩みを振り返りながら、新旧メンバーが和やかに語り合いました。世代や業種を超えたつながりが生まれ、これからの女性会の発展へ向けた新たな一歩となりました。女性経営者、起業を考えている方、企業の役員の方、ビジネスのネットワークを広げたい方、社会貢献活動に興味のある方ぜひ、ご参加ください。



庄巻のステージで心温まる

懇親会の終盤には、ウクライナ出身のオペラ歌手オクサーナさんが登場しました。2002年国立ウクライナ・チャイコフスキー音楽院声楽科及び器楽科を首席で卒業。第6回ブルクハルト国際音楽コンクールで最高位など数々の賞を受賞されています。故郷への愛と平和への祈りをこめて精力的に演奏活動を行っておられることもあり、会員との交流もあり、記念すべきこの日にお招きしました。特に蝶々夫人は馴染みも深く、感動に包まれました。私たちの世界平和への祈りを込めた素敵なステージで締めくくりました。



交流委員会

主催事業

新入会員歓迎会

■日時：2024年5月8日(水) ■開催会場：センチュリーコート丸の内 ■参加者：36人

5月8日、センチュリーコート丸の内において、交流委員会主催 東京商工会議所女性会新入会員歓迎会が開催されました。新入会員が、自己紹介や自社・事業の紹介を行いました。



次に、各テーブルに分かれて、歓談や名刺交換をしました。

その後、じゃんけん大会を行い、大変、盛り上がりました。

新入会員が女性会に馴染むよい機会となりました。



主催事業

ビジネス交流会

■日時：2024年7月16日(火) ■開催会場：明治記念館 ■参加者：31人

7月16日、明治記念館において、交流委員会主催 ビジネス交流会が開催されました。

各テーブルで、① 少子化 ② 人口減少 ③ 老後について の3つのテーマから1つを選択し、ディスカッションを行いました。次に、各テーブル代表者が、ディスカッショ

ンのまとめを発表しました。女性特有の視点からの意見が多く出ました。また、通常の名刺交換や挨拶と違い、テーマを決めたことで踏みこんだ意見交換をすることができ、相互により深く知り合うことができました。



渋沢栄一翁の生地を訪ねる！視察会

■日時：2024年11月26日(火)

■開催会場：埼玉県深谷市 渋沢栄一翁の生地、渋沢栄一記念館 ■参加者：21人

11月26日、交流委員会主催 埼玉県深谷「渋沢栄一翁の生家を訪ねる！視察会」が催行されました。

渋沢栄一翁は、「中の家」のある場所で、生まれてから23歳まで過ごしました。現在の「中の家」は、栄一翁の妹が明治28年に建てたものです。



アンドロイドシアターでは、80代白髪の栄一翁のアンドロイドが語り、映像が投影されました。少年期、論語を学んだこと、家業の藍玉製造を手伝い、すでに商才を発揮したこと、青年期、仲間と倒幕の密談を重ねていたが、いとこの説得により思いとどまったこと、その後、強運が重なり、ヨーロッパに1年半、滞在をする機会を得て、進んだ社会制度、思想、文化を目の当たりにし、それが日本の改革に取り組む原動力となったこと、などを学びました。



渋沢栄一記念館所蔵



渋沢栄一記念館では、栄一翁が84歳の時に行った基調講演「道徳経済合一説」をアンドロイドが再現するのを拝聴しました。栄一翁の講演をまとめた書籍「論語と算盤」にも書かれている考え方「道義を伴った利益を追求しなさい」が、現代に通じ、まさに今、必要とされているということを再認識いたしました。



これは栄一翁の等身大パネルと、東商女性会畠山会長が並んだ写真です。世界を股にかけて飛び歩いた、偉「大」な栄一翁ですが、実は、「小」柄（身長約150cm）だったことに驚きました。



記念館の北側には、当時と同じような田園風景が広がっています。栄一翁の像が、それを毎日眺められるように、像は記念館の北側にあります。



栄一翁の、時代を超えて通じる考えや人柄が、より身近に感じられるようになった視察会でした。



急速に変化を続ける今の時代に必要な学びを

研修委員会では女性活躍と経営者の更なる資質向上を目的とし、時代に即した知識の収集と研鑽を通じて会員の成長と事業の発展に貢献するような活動を展開しています。今年度は、多様な人材活用に焦点を当て、障害者雇用を推進する起業家や会計士からドローン業界へ転身した起業家の挑戦と成功事例を共有しました。また、チームビルディングを目的としたワークショップを通じて、経営の学びを深めると同時に、女性会メンバー間の絆を強める意義ある活動となりました。

主催事業

第7回研修委員会事業

「Unlocking！ シームレスバディで障害者の秘めた能力の発掘・開花を実現！」

■日時：2024年6月24日(月) 14：30～15：30 ■開催会場：東京商工会議所5階会議室 ■出席者：46名

第15回女性起業家大賞グロース部門で優秀賞を受賞したダンウェイ株式会社 代表取締役 高橋陽子氏による講演が、6月24日、東京商工会議所会議室にて開催されました。テーマは「Unlocking！ シームレスバディで障害者の秘めた能力の発掘・開花を実現！」です。

高橋氏は、子育て経験を契機に障害者就労支援システム「シームレスバディ」を開発。同システムは、障害者の能力を可視化し、適切なマッチングを可能にしています。また、福祉、教育、ICT、クリエイティブの各分野を結集した事業を展開し、多様な特性を持つ社員たちの能力を発掘・活用しています。

講演では、現在の障害者雇用が依然として低水準にある現状（約6%の雇用率や月額約1.7万円の工賃）を指摘されました。その課題を克服するため、高橋氏は「利益を生む仕組み」として障害者支援を再構築する必要性を強調

しました。また、特許取得やビジネスコンテスト参加を通じて、障害者雇用の現状改善に向けた具体的な戦略を提示しました。

講演は、障害者雇用の可能性と課題に光を当てるとともに、未来を見据えた実践的なヒントを提示する内容でした。



主催事業

第8回研修委員会事業

「スーツケースミステリー」で深まるチームの絆

■日時：2024年12月9日(月) 15：00～16：45 ■開催会場：墨田区産業共創施設(SIC)錦糸町 ■出席者：29名

研修委員会の事業では、インパクトジャパン株式会社様が提供する「スーツケースミステリー」というワークショップを実施しました。4～5名のチームに分かれ、与えられたヒントを元にスーツケースの謎を解く60分のゲームに挑戦しました。

メンバー間で意見を出し合い、試行錯誤を重ねながら、少しずつ解決に近づくプロセスでは達成感と一体感を感じる場面が多く、チームビルディング効果が高まりました。難解な場面で互いに助け合い、鍵が開いた瞬間の喜びは大きな盛り上



がりを見せました。

ワークショップ後は、錦糸町の「酒屋ばるTocci」で忘年会を開催。美味しい料理を囲みながら初参加者も含めた



交流が深まり、仕事やプライベートの話題で盛り上がりました。このイベントを通じ、女性会メンバー間の絆が一層強まり、今後の繋がりにも期待が膨らむ一日となりました。



主催事業

第9回研修委員会事業

STEM分野での女性活躍と次世代へ拓く希望 ～STEM分野における女性の力と可能性～

■日時：2025年3月5日(水) 11:30～14:30 ■開催会場：エレガントヴィータ 恵比寿 ■出席者：35名

株式会社Kanatta代表の井口恵氏を講師に迎え、ドローン業界、宇宙産業、そして女性の活躍についての講演会が開催されました。井口氏は会計士からドローン業界へ転身し、女性パイロット育成の「ドローンジョ」を設立。点検、物流、防災、農業などの分野で100名以上の女性パイロットを派遣し、女性活躍の場を切り拓いています。

また、宇宙産業への女性参画を支援する「コスモ女子」では、メンバーの20%が宇宙関連事業に従事。昨年には人工衛星の打ち上げにも成功し、メディアからの注目を集めました。この挑戦は、女性が宇宙産業でキャリアを築く新しい未来像を示しています。



井口氏は柔軟な働き方も実践。出産後は子どもを職場に同伴しながら働くスタイルを確立し、今回の講演にも1歳のお子さまと共に参加。その姿勢は、ジェンダー平等と多様な働き方を象徴するものとして多くの参加者にインスピレーションを与えました。

講演後にはAI機能を搭載したドローンの操縦実演が行われ、技術の可能性を体感できたことで会場は大いに盛り上がりました。井口氏の挑戦は、未来産業の発展とジェンダー平等実現への希望を感じさせるものでした。



他の商工会議所女性会との連携

全国商工会議所女性会連合会

概要

(2025年3月時点)

- 設立：1969年7月
- 会員資格：各地商工会議所女性会
- 組織：(1)会員数：422商工会議所女性会 (2)役員：62名
- 会長：畠山 笑美子(東京商工会議所女性会会長)
- URL：<http://joseikai.jcci.or.jp/>

総会（ハイブリッド形式）に参加（2024年11月7日・8日）

全国商工会議所女性会連合会（全商女性連、畠山笑美子会長）は11月7日（木）、8日（金）に「第56回全国商工会議所女性会連合会滋賀全国大会」を滋賀県大津市で開催し、全国326女性会から約2,500名が参加し、東商女性会からは33名が参加しました。

全国大会では、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる

オープニングセレモニーの他、「第22回女性起業家大賞」表彰式と全商女性連表彰授賞式、能楽師 吉浪壽晃 氏による能舞「須磨源氏」・大本山 石山寺 座主 鷲尾龍華 氏による講演「石山寺と紫式部『源氏物語』」が行われました。

また、2日目は滋賀県の各地を巡るエキスカーションを実施しました。



▲挨拶する畠山会長



▲東商女性会紹介時



▲会場の様子

関東商工会議所女性会連合会

概要

(2025年4月時点)

- 設立：1985年10月
- 会員資格：関東地方(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・静岡)の各地商工会議所女性会
- 組織：(1)会員数：82商工会議所女性会 (2)役員：15名
約4,400名 会長：畠山 笑美子(東京商工会議所女性会会長)

総会に参加(2024年5月22日)

- 実施日：2024年5月22日(水) ■会場：【総会・ファッションショー他】YCC県民文化ホール・大ホール
【懇親会】アピオ甲府 タワー館・10、8F



▲東商女性会集合写真

関東商工会議所女性会連合会総会<山梨大会>がYCC県民文化ホールとアピオ甲府で開催され、当日は72女性会から625名の会員が集まり、東商女性会からは22名が参加しました。総会後は、甲府ジュエリー・甲州印伝・郡内織物といった県内の伝統産業をテーマにした「YAMANASHIプロダクトファッションショー」が行われました。また、懇親会では県内の食材をふんだんに使った料理を味わい、総会は盛大に終わりました。



▲挨拶する畠山会長



▲懇親会の様子

東京都内商工会議所女性会

東京都内(東京・八王子・武蔵野・町田)

商工会議所女性会共催「講演会【多様性社会がつくる女性経営者の未来】」を開催(2024年10月3日)

都内4商工会議所(東京、八王子、武蔵野、町田)女性会で実施している共催事業について、2024年度は町田商工会議所女性会の幹事にて開催され、都内4商工会議所女性会より、計57名が参加いたしました。講演会では、少子化・ワークライフバランス・ジェンダーギャップ・Z世代のライフスタイルと雇用・多様性社会の実現・経営改善

に必要な取り組みについて、埼玉大学教授であり、町田市男女平等参画協議会委員長も務められる石坂 督規氏に講演いただきました。講演会終了後、各テーブルに分かれトークセッションも開催され、懇親会も含め各地商工会議所女性会で交流を行いました。



▲講演会での集合写真

観光振興大会2025 in長崎

■実施日：2025年1月28日(火)～30日(木) ■会場：長崎県長崎市

2025年1月28日～30日、長崎県長崎市において、全国商工会議所 観光振興大会2025 in長崎（日本商工会議所・長崎商工会議所主催、長崎県商工会議所連合会共催）が開催され、全国約254商工会議所・連合会等から1,863名が参加し、東商女性会からは16名が参加致しました。

20回目を迎えた今大会は「ふるさとの光を觀つけに！長崎遊学」をテーマに、28日の分科会では、歴史・文化、食、スポーツ、まつり・イベントの4つに分かれ、地域に根差した観光資源の活用についてパネルディスカッションを実施しました。翌日の全体会議では、「ふるさとのチカラ」をテーマとしたさだまさし氏による基調講演、2024年度きらり輝き観光振興大賞の表彰式や大賞を受賞した奈良商工会議所による事例発表等を実施しました。



▲全体会議会場 出島メッセ長崎にて

Schedule

東商女性会 2025年度スケジュール

	開催日	内容	会場
2025年	5月21日(水)	関東商工会議所女性会連合会 2025年度総会＜浦安大会＞	千葉県浦安市
	5月28日(水)	交流委員会事業 ビジネス交流会・新入会員歓迎会	明治記念館
	6月23日(月)	研修委員会事業 講演会 総会	丸の内二重橋ビル
	7月23日(水)	都内4女性会（東京・八王子・武蔵野・町田） 共催事業 ～アフタヌーンクルーズ・懇親会～	都内
	10月10日(金)	第57回全国商工会議所女性会連合会 全国大会（東京） ※主管：全国商工会議所女性会連合会	ホテルニューオータニ
	11月～	～新役員体制発足～	
2026年	1月～2月	新年懇親会	未定

商工会議所女性会活動指針

わたしたち、商工会議所女性会は、リーダーとして、
凜と信をもって連帯し、平和で心豊かな社会を築きましょう。

- 一、リーダーとは、高い志をもって、自己の変革・向上を目指すことです。
- 二、凜とは、情熱・勇気をもって行動し、社業の発展に努め、
地域社会に貢献することです。
- 三、信とは、礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、
次の世代に継承することです。
- 四、連帯とは、女性経営者の友情と信頼の輪を内外に広げることです。

東商女性会歴代会長一覧

【歴代会長】

初代	藤村千良	第7代	吉川稲美
第2代	竹内寿恵	第8代	山崎登美子
第3代	松川サク	第9代	藤沢薫
第4代	森井登久子	第10代	市瀬優子
第5代	小泉清子	第11代	畠山笑美子
第6代	斎藤朝子		



商工会議所女性会の歌

野村若葉子 作詞
服部良一 作曲

1. 日本¹の国の街々の
女性²の力 かぐわしく
生産³の
燈⁴を守り 守り
ここに集う 我ら
前途⁵明るい
商⁶工会議所女性会
2. 世界¹に並ぶ国々に
女性²の力 かぎりなく
商³(あきない)の
交⁴りひろげ ひろげ
ここに進む 我ら
理想⁵は高く
商⁶工会議所女性会
3. 険¹(けわ)しい世にも助け合う
女性²の力 逞しく
新しい
人の和³築き 築き
ここに唄う 我ら
心⁴豊かな
商⁵工会議所女性会



TOSHO LADY

東商レディ

2025年6月18日／第30号

発行所 東京商工会議所
総務統括部 組織連携課
発行人 東京商工会議所女性会
編集 東京商工会議所女性会